

第71回 全国中学校理科教育研究会 山梨大会 報告

北海道中学校理科教育研究会 冬季研修会
令和7年1月11日(土)
研究部担当副部长 札幌市立伏見中学校 高橋直也

1

大会日時・会場



開催日程

◆ **1日目** 8月8日(木) 【会場:シャトレゼホテル談露館/県庁防災新館/YCC県民文化ホール】

9:00	9:30	10:00	10:30	12:00	14:00	14:30	15:30	17:00	18:30	20:30
役員受付	役員会			理事會	ブロック会・昼食	一般受付	開会式	文部科学省講演		レセプション

◆ **2日目** 8月9日(金) 【会場:山梨県立図書館/YCC県民文化ホール】

9:00	9:30		13:00	14:30	16:00	17:00
受付		分科会		昼食	記念講演	閉会式

◆ 8月10日(土) エクスカーション【教育視察】
『自然・科学技術と人間』

①先進技術リニアと世界遺産富士山コース
②青木ヶ原樹海をめぐるコース
③宝飾産業とワイン醸造コース
※いずれのコースも、半日で体験できます。

2



3



4



5

文部科学省講演

演題：

「資質・能力の育成を目指した理科の授業づくり」

講師：

文部科学省 国立教育政策研究所

教育課程調査官・学力調査官

(併 文部科学省 初等中等教育局 教科調査官)

真井 克子 氏



6

文部科学省講演

講演の要旨

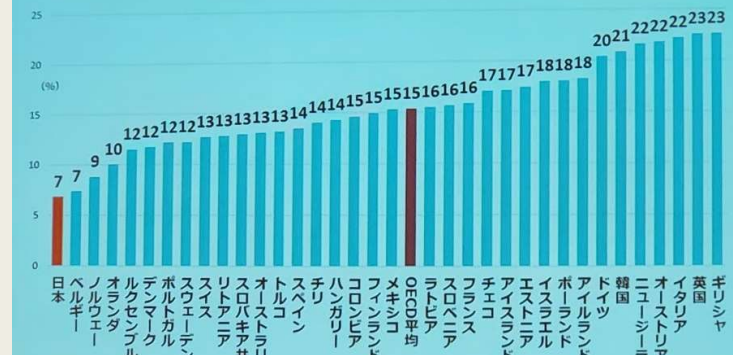
- 日本の教育の現状
- 学習評価の在り方から授業改善を考える

7

文部科学省講演

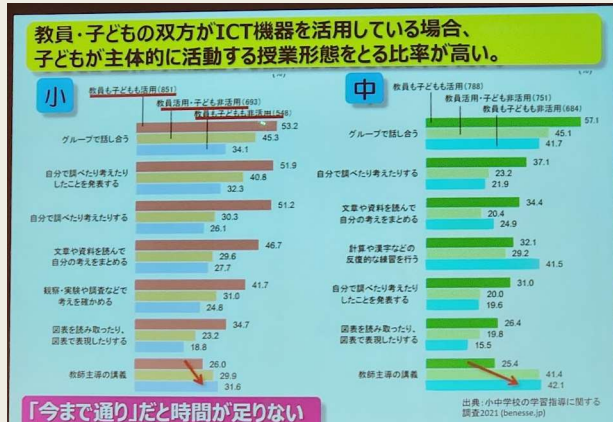
○ 日本の教育の現状

理工系学部入学者の女性比率は7% (OECD最下位)



8

文部科学省講演 ○ 日本の教育の現状



9

文部科学省講演 ○ 学習評価の在り方から授業改善を考える

2 研究の実際 について

導入段階 → 展開前段 → 展開後段 → 終末段階

友達の考察の妥当性を評価

【他者評価】チェックシート 誰が評価したか ()

観点	①根拠となる情報が分かり、納得できるか	②他の場所でも同じことが言えるか
○, △	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

助言
 □さんへ、一つの場所しか調べていないから、2つ以上調べるとどちらも同じだから～ですということが言えるから、もっと色々な場所を調べるともっと考察が良くなると思います。

評価

10

文部科学省講演

- 単元の指導計画を校内で協力して作成しませんか
 - ・先生の力量によらない授業につながる
- 実験・観察を重視
 - ・理科室づくりが、実験のスムーズな実施につながるかも
 - ・知的好奇心をもつことができれば、自ら進んで学ぶのでは？
- 必要以上に「説明」していませんか。
 - ・生徒に考えさせているのに、自分が答えを言ってしまっていないか。

11

<研究主題>

理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育

<大会主題>

自然の事象に関わり、観察や実験、科学的な探究活動を通して、持続可能な未来を創造する力を育む理科教育

12

<分科会主題>

第1分科会（教育課程）

科学的に探究するために必要な資質・能力を育む教育課程

第2分科会（学習指導・評価）

主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導と学習評価

第3分科会（観察・実験）

理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって
科学的に探究する観察・実験

第4分科会（環境教育）

自然と調和しながら持続可能な社会をつくっていくために
必要な力を育む環境教育

13

研究発表第1分科会（教育課程）

北海道教育大学附属釧路義務教育学校

三光楼正洋 教諭

「資質・能力の育成を図る
小中一貫カリキュラムの開発」
～地球領域の実践を通して～



14

研究発表第3分科会（観察・実験）

北海道教育大学附属札幌中学校 室永瑞貴 教諭

「多面的に捉え、実証性を高める観察、実験」
～自然事象を多面的に捉え、
繰り返し検証することで
「納得解」を得る学びを通して～



15

研究発表第4分科会（環境教育）

旭川市立愛宕中学校 新井崇仁 教諭

「自立した学習者として、科学的に探究し、自然との共生に向かう環境教育」
～見通しと振り返りを通して、
自らの問いと学びをつなぎ、
理科の見方・考え方を働かせて
探究する生徒の育成～



16

分科会全体を通しての課題点

- 会場が複数か所に散らばっており、参加した分科会以外の様子や資料を見ることができなかった。
- Wi-Fiのネットワーク環境が安定せず、発表中のトラブルもみられた。
- もう少し活発な質疑応答が行われると良かったと感じる。
- 全中理研究主題や大会主題に迫ることができる研究発表はあまり多くはなかった。

17

記念講演

演題：

『白ワイン「甲州」と
風土を活かしたワイン造り』

講師：

中央葡萄酒株式会社

取締役 三澤 彩奈 氏



18

記念講演の内容

- ◆ 日本でワインをつくる面白さ
- ◆ ワイン造りの奥深さ
- ◆ ぶどうの品種改良
- ◆ 世界に売り出すために

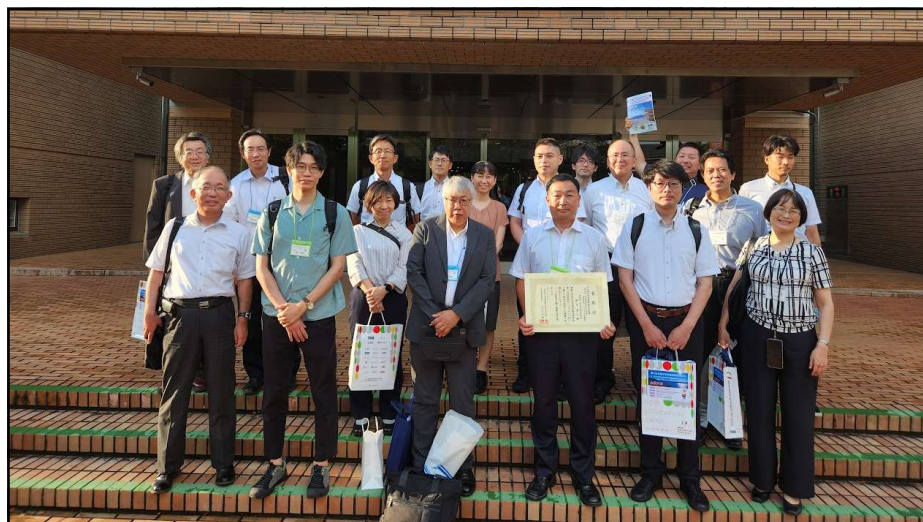


19

大会全体の様子

- ◆ 完全参集型（オンライン配信なし）
- ◆ 受付入場は二次元コードで管理
- ◆ 開発のリハーサルが1日目の午前中に設定されており、前日入りしなければならないような日程であった。
- ◆ Wi-Fi環境があったものの不安定であった。
- ◆ 各会場が微妙に離れており、移動が大変であった。

21



22



23